

成果指標				
成果指標	漁業廃棄物回収処理量(㎥)			
指標設定の考え方	漁業生産により排出される廃棄物から市民の環境保全を図るため、回収処理量を指標とする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	200	200	200	200
実績	0	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	漁港の適正運用のため、予算の執行に努める。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	本市水産業の振興を図るため、漁協が行う漁港施設改修事業と、プラスチック系廃棄物処理事業について一部補助し、実施の促進を図る必要な事業であり、今後も効果・効率的な事業執行に努める必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題